

第 265号

めぐみ厚生センター恵友会 会報

めぐみ厚生センター恵友会

法人本部	0952-25-2797
めぐみ園	0952-34-7722
富士学園	0952-63-0107
ウイズ富士	0952-51-0063

発行人 鳴原 貞雄

郵便振替 めぐみ厚生センター恵友会 口座番号： 01770-6-12389
 事務局 〒840-2223 佐賀市東与賀町大字飯盛1584 (めぐみ園内) : tel 0952-34-7722

『恵友会の研修に参加して』

多布施三丁目
石丸九州男



去る六月三日(木)「にちりん」(日新校区)と「新栄校区」の恵友会の有志及び、めぐみ園関係者等の約三〇名で、佐世保市上原町にある「ケアハウス光の子」に研修に行きました。

「光の子」は国道三十五号線から約一キロばかり入った所にあります。ここまで来ると民家も少なく自然が一杯で見晴らしが良く、折からの燦々と降り注ぐ六月の太陽に照らされて、青葉・若葉が目にも鮮やかで、そこから放出される存分のオゾンに包まれ、どこからともなく「ホーホケキョウ」の声が聞こえて来ます。まさに自然環境満点で、居ながらにして心が洗われます。ここに来ただけで心が広くなり人間が変わっていきような気分になります。素晴らしい自然環境は居ながらにして人間を変えてくれるようです。

「光の子」では、ケアハウスを中心として在宅支援センター、デイサービスセンター、ホームヘルパーステーション、グループホーム等を手

広く展開されています。

「ケアハウス」とは簡単に言うことです。自炊が出来ない程度の身体機能の低下が認められ、又は高齢等の為に独立して生活するには不安が認められる者であって・・・と、あります。

玄関前の広場に着きました。四階建ての本館が《ドーン》と目に入ってきます。開館して約十年とのこと、立派な現代的建築なので、とても十年前の建物とは思えません。新品同様です。それよりも驚くのは屋根瓦です。日本の屋根は黒か灰色か、せいぜい地味な茶色で、それも一色だけです。それが、ここでは茶色と青色でモザイクされクリーム色の壁とマッチし、黄緑の木々にすっぽりと包まれています。あまりの見事さに見とれてしまいました。

中の案内が始まりました。バリアフリーの精神が建物の隅々迄行き届き、安心して生活出来るようになっています。素晴らしい建物や設備は

勿論ですが、そこで働いておられる職員さんの笑顔も又、素晴らしい、大きな声が響いています。それに負けず劣らず利用者の方の明るい大きな掛け声や歌声、話し声が聞こえてきます。このような元気一杯の声や笑い声を聞いてみると、この園内の空気が明るく、楽しく伸び伸びと生活しておられる様子が、ひしひしと迫ってきます。どこに行ってもどんなに探しても暗い声、重い空気等はみじんも無いし、全く感じられません。

我々がウロウロしていると親切丁寧に教えてくれる方がいて、私は職員さんと思いましたが、鍵を開けて自分の部屋に入って行かれたので、この入所者の方だと分かりました。

今までに色々な施設を見学してきましたので、ある種の先入観を持っていましたが、「光の子」で生活されている人の顔は私の想像と全く違っていました。どう見ても施設で生活している人の顔ではありません。皆さん活き活きとして元気はつらつ、明るく大きな声、どう見ても老人とは思えない人が多数おいででした。素晴らしい外観、それに負けない中の暖かな空気・・・、本当に羨ましくなりました。

帰りに大村桜で有名な大村公園に寄り菖蒲の見所の絶頂でした。当日は一日、本当に素晴らしい日になりました。





◎新入会ありがとうございました。

平成二十一年六月三日現在
(敬称略)



吉田幸子

◎会費納入ありがとうございました。

平成二十一年六月三日現在
(敬称略)

- 堤宏隆、はと交通、藤山光恵、大崎茶舗
- 堺正仁、古川正人、名手久美子、森昌行
- 森佳子、渡邊満美子、柴田英則・二三恵
- 浅草光子、近藤厚子、江崎千栄子
- 島田史子、香月茂、園田健介、諫山眞司
- 諫山輝子、武下正文、福島龍一
- 柿本ひとみ、九間則子、鳥井千秋 ☆
- 松本民子、嘉村渡・和美、梅本隆司
- 梅本富美子、原口弘・久美・恭典
- 原口弘二朗、大金通浩、金ヶ江ツヨ子
- 古川美枝子、柳川正博、武久好光
- 林憲子、森永弘太ご一同、菱ヶ江弘子
- 富士学園職員四六名分、八戸ハルノ
- 末永弘、林正敏、今田實 江頭政勝
- 松尾喜治、広川昭春、古賀幸、吉田幸子
- 八谷チサ子、瀬戸口幸代、堤キクエ
- 大坪美智子、山崎圭子、徳永尚子
- 瀬戸口昭子、金武妙子、石丸文子
- 池松房子、石丸美智子、嶋田キヨ子
- 小淵八千子

◎ご寄付ありがとうございました。

平成二十一年六月三日現在
(敬称略)



- 永瀬浩一、石丸九州男
- にちりんボランティア
- 新菜ボランティア
- 武下正文、福島龍一



第一五回役員会

去る五月二十二日(土) 午前十一時より第十五回恵友会役員会・総会が開催されました。

まず、千葉より遠路出席いただいた鴨原会長の挨拶があり、ついで栗林恵一めぐみ厚生センター理事長から役員、会員の皆様への謝辞がありました。

役員会・総会は議長に副島副会長が選出され、総会の議決について会則に基づいての説明をされました。

まず、二十・二十一年度の事業報告があり、二十年度の「ふれあいの広場」は、ケアホーム建設の為、中止したこと、二十一年度は通年通り色々な方の協力で実施したこと等の報告がありました。

決算報告では、支出が予算額よりも軽減されていたこと等が報告され承認がなされました。その後、監事より報告がなされ、全てきちんと整理され、工夫がなされていたことの報告がありました。

二十・二十三年度の事業計画・予算案の中で、「恵友会報」について集中して論議がなされ、毎月一回の発行であるが二ヶ月に一回手元に届いている状況を考慮して、毎月一回の発行が望ましいが、二ヶ月に一回の発行という苦渋の決断がなされました。

つづいて、二十三年度が「恵友会」発足三十年になる年度なので、その節目として新たな展開として何かイベントが出来ないかということになり、「ふれあいコンサート」(仮称)を実施することになりました。詳細は今後煮詰めていくこととなりました。



総会開催

他の事業については、施設への支援、親睦を兼ねた研修等々も今まで以上に積極的に実施していくことで満場一致で承認されました

会は、江崎副会長の閉会の言葉で無事終了しました。



尚、役員は新任・再任を含めて左記の方々です。

- 会長 鴨原貞雄 (敬称略)
- 副会長 副島 勉(会計兼務)
- 副会長 江崎千栄子
- 幹事(書記) 堤 宏隆
- 幹事 西村 貴
- 幹事 山口貞雄
- 幹事 江崎悠紀子
- 幹事 山崎圭子「新任」
- 幹事 石丸九州男
- 監事 今村 宏

また、顧問を左記二名の方にお願ひしています。(敬称略)

- 顧問 塩野秀男
- 顧問 栗林文男

今後も、めぐみ厚生センターの利用者の方はじめ、センター内外でのサポーターとして会の発展・活動に、会員の皆様も努めて参りましょう!



～ 研修アルバム ～



「光の子」外観!



説明に聞き入る参加者の皆さん



バリアフリー



眺めの良い浴室でした



菖蒲の素敵大村公園